企業利用申込書添付書類

※ 本様式は，東京大学 情報システム部 情報戦略課 研究支援チームに書面で提出するとともに電子メールでも kigyo@cc.u-tokyo.ac.jp までお送りください。（PDF 形式にてお送りください。）

申込課題名				
企　業　名			**プロジェクトコード**	
代表者氏名		**申込ノード数**	Reedbush-H Reedbush-L Oakforest-PACS Oakbridge-CX	ノード ノード ノード ノード

1．利用者の種別	1．ASP 事業者	2．アプリケーション開発者または利用者

2．申込者の自社または関連会社内において大規模並列計算が行えない理由

※申込課題が企業の通常業務における計算需要負荷の肩代りになっていないこと。

※記入の際は各項目の枠内に収まるように記入してください。

3. 利用するプログラムについて

※複数ある場合は各プログラムに対してシートを複製してご使用ください。

プログラム名			
計算内容			
プログラムの種別		**自社開発 ／ オープンソース**（該当する方に○を付してください）	
		説明（開発者や入手元について）	
プログラムの規模（行数）			
実 績	**動作させたマシン名**		
	ノード数（コア数、プロセッサ数等）		
	ジョブ数（実行計数）		
	I/O データ量 [GB] **最大規模のジョブ一回あたり**	**入力データ**	
		出力データ	
	利用分野名 （例 ○○：□□法による△計算）		
現 状	**最大問題サイズ**		
	性能値（ピーク性能比率）		
	最大利用メモリ量		
目 標	**最大問題サイズ**		
	性能値（ピーク性能比率）		
	最大利用メモリ量		
	I/O データ量 [GB]（推定） **最大規模のジョブ一回あたり**	**入力データ**	
		出力データ	
	希望する最大利用ノード数		

大規模データの処理方法、戦略（利用可視化ソフト等）

大規模ジョブの実行予定 ※ノード数、一回あたりの実行時間、ケース数等について、最大実行ノード数および付与トークン（ノード時間）の範囲内で、可能な限り詳細に記述ください。複数のシステムを使用する場合には各々について記述ください。

例） Oakforest-PACS 512 ノード×2 時間×10 回

特記事項（特殊なライブラリ, ソフトウェアの使用等：ご希望に添えない場合もあります）

4. 実施内容の概要

※大規模高性能並列計算に合致するテーマを支援するものであることから、以下の項目に留意の上記載すること。

（1）企業利用としての先端性を有すること。

（2）将来の科学技術発展、大規模高性能並列計算分野の発展、大規模高性能並列計算によるイノベーションにそれぞれ寄与すること。

（3）大規模並列計算を目指した利用であること。

5. ASP 事業者のみ記載

（1）ASP 事業者として本計算センターを利用する理由並びに利用期間の予測およびそれに向けての取り組み

※本来、事業者自らあるいは民間計算センター設備を使用すべきであり、そのような状況になるための条件とそのような条件を満たすであろう時期およびそれに向けての取り組みを記載してください。

（2）企業への支援体制

（3）上記（2）のうち、計算シミュレーションによるもの作りを従来行っていない企業への支援体制

（4）東京大学情報基盤センターからエンドユーザーへの周知事項の連絡体制

例） 連絡責任者が各利用者へメーリングリストにて連絡します。